那覇市立教育研究所

所報第１２号

平成２２年　１　月１８日
那覇市金城３－５－３
所　長　　池　間　生　子

「幼小連携」

所長　池間生子

二〇一〇年がスタートした。今年、最初の研究所が参加させてもらう研修会は、「幼稚園長・主任研修会」である。こども政策課が主幹となり就学前教育ガイド策定委員会を立ち上げているが、幼小連携のカリキュラム作りの一貫として行われる研修会だと聞いている。その研修会の二日目には、本研究所の研究員の保育参観も予定されている。

遊びと生活を中心とする幼稚園教育と教科を中心とする小学校教育の「なめらかな接続」については、これまでにも、幾度となく話題になってきた。

子どもの発達や学び、生活は連続しているにも関わらず、幼児期の教育と小学校の教育の間に必要以上の段差や相互理解の不足が「小一プロブレム」として明らかになってきたからである。

小学校で取り組んでいることを改めて幼稚園児の視点で考えてみると、

・幼稚園ではウサギの世話は責任を持たされていたのに、小学校では高学年の仕事でさせてもらえない。

・幼稚園では片付けや掃除、お弁当の時間の準備は自分たちでやっていたのに高学年のお世話係がいる等。

確かに上手ではないかもしれないが、決して出来ないわけではない。小学校では、入学当初の一年生への「子供扱い」は多いのかもしれない。

幼児教育で既に何を経験し獲得しているかをふまえ、それを上手に利用するような指導の工夫で、小学校一年生前半の授業の進め方も変わってくるのではないだろうか。そのためには、小学校の先生方は園児の活動の参観が必要だと思う。実際に見学することで「幼児でもこんなにいろいろなことが出来るんだ」ということが把握できるのではないだろうか。

「幼児教育を小学校教育の先取り教育とすべきではない。」

「幼児期には幼児期に経験しなくてはならない発達課題がある。」

参考資料で気になった言葉である。

那覇市教育委員会　「閉庁式」

平成２１年１２月２５日（金）に，４４年間，那覇市教育委員会を支えてきた庁舎が閉庁しました。

平成21年12月28日（月）「とまりん」へ移転　那覇市教育委員会

平成２１年１２月２８日（月）より，総務課･生涯学習課･市民スポーツ課･文化財課施設管理課･学校教育課･学務課･学校給食室が，とまりんの２階３階に移転しました。

２階

右　奥　教育長室
右　側　総務課
左　側　学務課
正面奥　学校教育課
　　部長室
　　学校給食室

１階正面のエスカレータで２階に上がり，右奥に教育委員会の入り口があります。

入り口からの様子

学校教育課

部長室

小会議室

新しい職員の紹介（図書室）

図書室の担当は，これまで田端主任主事の１人でしたが，１月から非常勤の赤嶺律子さんと２人となります。

赤嶺律子です。
宜しくお願いします。

「高校総体推進室」が研究所と同じ階に移転しました！

高校総体推進室が，研究所の会議室として利用していた部屋に移転しました。
協力して，スムーズな業務の遂行・楽しい２階にしていきたいと考えています。
また，研究所での学習会等については，図書室や他の部屋を利用する予定です。

砂川室長

高校総体推進室の皆さん

平成22年度　教育研究員募集

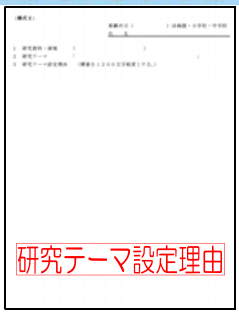
前期　平成２２年　４月１日～平成２２年９月３０日
後期　平成２２年１０月１日～平成２３年３月３１日

応募資格　①教職経験３年以上（那覇市内１年以上）
②長期研修経験者は修了後５年以上経過
③研究所への再応募は１０年以上経過
④異動対象者・異動希望者は認められない

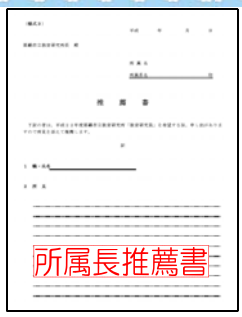
詳しくは研究員募集要項参照（研究所ホームページ）

締切　平成２２年２月５日(金)　右の様式１･２･３提出

研究員申込書



研究テーマ設定理由



所属長推薦書